

2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 竹本容器株式会社

コード番号 4248

URL <https://www.takemotopkg.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹本 笑子

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室長

(氏名) 戸田 琢哉 (TEL) 03(3845)6107

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	10,904	△8.4	757	△2.0	795	1.2	583	15.1
2024年12月期第3四半期	11,903	11.2	773	108.1	785	78.1	507	142.1

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 296百万円(△50.6%) 2024年12月期第3四半期 599百万円(△5.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	48.44	48.26
2024年12月期第3四半期	42.14	41.98

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	16,317	11,572	70.6
2024年12月期	18,236	11,695	63.9

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 11,524百万円 2024年12月期 11,646百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	18.00	—	18.00	36.00
2025年12月期	—	18.00	—		
2025年12月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,850	1.4	980	3.7	1,010	4.3	720	12.5	59.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社(社名) — 、除外 —社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期 3 Q	12, 529, 200株	2024年12月期	12, 529, 200株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	462, 204株	2024年12月期	482, 304株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年12月期 3 Q	12, 054, 952株	2024年12月期 3 Q	12, 039, 402株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、外国人観光客による需要の増加、雇用・所得環境の改善等を背景に景気は緩やかな回復基調となりました。一方、原材料価格の高止まりや物価上昇による消費マインドの弱さ、国際情勢による地政学的なリスクや下振れ要因が多いことなどから、依然として先行き不透明な状況は継続しています。また、中国においては、不動産価格の下落等に起因した消費者の節約志向の継続により個人消費は依然として低迷しております。

このような状況において、当社グループは生活上必要不可欠な容器－カタチ（容）あるウツワ（器）－をつうじて、お客様の商品である内容物の価値を安全に包み、さらにその価値と個性化を高め「世界の器文化に貢献」することを使命とし、お客様の求める商品価値の創造とより高い満足を目指して、Standoutなパッケージングソリューションを提供しております。

また、当社グループは資源循環型パッケージングカンパニーを目指して、自然に還りやすい「生分解性樹脂」を使用した容器を開発して以来、植物由来のバイオマス原料やリサイクルされた原材料を使用した容器、付替・詰替機能の付加により繰り返し使用できる容器、樹脂原材料の使用量を削減した容器などのサステナビリティ製品を幅広くラインナップするとともに新たな製品開発も進めております。

当第3四半期連結累計期間における資源循環型パッケージング売上高はサステナビリティ製品の品ぞろえの充実をお客様から評価いただいたことから、27億22百万円（連結売上高に占める割合25.0%）となりました。

日本国内においては、スポット案件の減少に加え、大口のリピーター案件の減少により売上高は82億84百万円（前年同期比13.9%減）となりました。新規顧客及び新規案件獲得増に向けてスタンダードボトルを軸とした開発提案型の営業活動の強化を継続し売上高の挽回を図ってまいります。

中国国内では同業他社との競争激化もある中で、化粧品分野の他、食品分野の開拓など営業面の見直しを図り、新規案件獲得増が寄与することで、売上高は19億9百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

また、インドは旺盛な需要増に対応するために、化粧品市場の拡大に合わせた品揃え強化並びに生産能力向上に向けて設備増強などの諸施策を実施することにより売上高は6億30百万円（前年同期比52.5%増）となりました。

損益面では中国国内では売上高に見合った生産体制を構築し、生産の自動化の範囲を拡張することで損益の改善を図り、またインドでは旺盛な受注に対して金型、成形機への設備投資を継続し売上高の拡大を図ることで、中国・インドそれぞれで収益性を改善しております。

一方、日本国内は販売価格の見直し効果の浸透や歩留まり改善策の実行などにより売上総利益率が上昇したものの、売上高の減少により売上総利益額が減少し営業利益は前年同期比で減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は109億4百万円（前年同期比8.4%減）、営業利益は7億57百万円（前年同期比2.0%減）、経常利益は7億95百万円（前年同期比1.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億83百万円（前年同期比15.1%増）となりました。

なお、当社グループは、容器事業の単一セグメントのため、セグメント別の記載を省略しています。

また、販売先主要事業内容ごとの販売実績売上高は次のとおりです。

区分	前第3四半期 連結累計期間 売上高(千円)	当第3四半期 連結累計期間 売上高(千円)	増減(比率)
化粧・美容	7,578,107	6,462,292	△14.7%
日用・雑貨	761,372	742,230	△2.5%
食品・健康食品	1,122,099	1,062,289	△5.3%
化学・医薬	682,777	713,702	4.5%
卸、その他	1,759,208	1,924,433	9.4%
計	11,903,565	10,904,948	△8.4%

(注) 1. 上記の区分は当社グループの販売品目である容器類について、販売先の主要事業内容により分類したものであります。販売先における容器等の用途と上記区分名称は異なる場合があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して19億19百万円減少の163億17百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して17億39百万円減少の93億81百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が14億80百万円減少、受取手形及び売掛金が1億74百万円減少、商品及び製品が90百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して1億79百万円減少の69億36百万円となりました。主な変動要因は、建物及び構築物（純額）が2億49百万円減少、機械装置及び運搬具（純額）が1億26百万円減少、その他（純額）のうち、金型（純額）が57百万円増加、建設仮勘定が96百万円増加したことによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して14億63百万円減少の29億93百万円となりました。主な変動要因は、下請法改正に伴う手形サイト短縮化の影響もあり電子記録債務が8億28百万円減少、支払手形及び買掛金が91百万円減少、未払法人税等が1億16百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して3億32百万円減少の17億50百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金が3億37百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して1億22百万円減少の115億72百万円となりました。主な変動要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金が5億83百万円増加、剰余金の配当が4億34百万円あったこと及び自己株式処分による計上額が15百万円増加、為替換算調整勘定が2億88百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の連結業績予想につきましては、2025年1月31日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,026,949	4,546,879
受取手形及び売掛金	2,987,678	2,812,751
商品及び製品	1,490,016	1,399,481
仕掛品	39,486	54,630
原材料及び貯蔵品	383,162	359,900
その他	195,455	207,997
貸倒引当金	△2,358	△442
流動資産合計	11,120,390	9,381,198
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,298,985	3,049,158
機械装置及び運搬具（純額）	1,703,339	1,576,867
その他（純額）	1,564,004	1,698,841
有形固定資産合計	6,566,328	6,324,867
無形固定資産	357,696	412,225
投資その他の資産		
その他	193,689	200,706
貸倒引当金	△1,755	△1,755
投資その他の資産合計	191,934	198,950
固定資産合計	7,115,960	6,936,043
資産合計	18,236,350	16,317,242

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	635,342	543,370
電子記録債務	1,855,795	1,027,586
1年内返済予定の長期借入金	557,392	462,384
未払法人税等	183,543	67,002
その他	1,225,472	893,493
流動負債合計	4,457,546	2,993,837
固定負債		
長期借入金	1,697,481	1,359,996
退職給付に係る負債	352,056	361,396
資産除去債務	9,907	9,922
繰延税金負債	23,807	19,131
固定負債合計	2,083,252	1,750,446
負債合計	6,540,798	4,744,283
純資産の部		
株主資本		
資本金	803,421	803,421
資本剰余金	1,031,379	1,032,469
利益剰余金	8,458,597	8,608,475
自己株式	△360,945	△345,903
株主資本合計	9,932,453	10,098,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,903	4,827
為替換算調整勘定	1,692,834	1,403,900
退職給付に係る調整累計額	18,254	17,397
その他の包括利益累計額合計	1,713,992	1,426,125
新株予約権	49,105	48,368
純資産合計	11,695,551	11,572,958
負債純資産合計	18,236,350	16,317,242

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	11,903,565	10,904,948
売上原価	8,595,255	7,649,298
売上総利益	3,308,310	3,255,649
販売費及び一般管理費	2,535,199	2,498,169
営業利益	773,111	757,480
営業外収益		
受取利息	24,794	30,919
受取配当金	72	72
為替差益	—	2,754
受取保険金	3,530	—
助成金収入	1,480	—
その他	9,050	13,003
営業外収益合計	38,927	46,749
営業外費用		
支払利息	10,317	8,226
為替差損	12,347	—
貸倒引当金繰入額	1,755	—
その他	2,039	771
営業外費用合計	26,460	8,997
経常利益	785,578	795,232
特別損失		
固定資産除却損	1,719	629
特別損失合計	1,719	629
税金等調整前四半期純利益	783,858	794,603
法人税、住民税及び事業税	276,714	215,249
法人税等調整額	△215	△4,574
法人税等合計	276,499	210,675
四半期純利益	507,359	583,927
親会社株主に帰属する四半期純利益	507,359	583,927

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	507,359	583,927
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79	1,924
為替換算調整勘定	92,459	△288,934
退職給付に係る調整額	139	△856
その他の包括利益合計	92,519	△287,866
四半期包括利益	599,878	296,061
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	599,878	296,061

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第3四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第3四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表及び連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、容器事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	774,999千円	723,026千円